

特別展

いぬ

東
ア
ジ
ア

ね

2023年10月7日(土) → 11月12日(日)

※一部展示替えあり ◎前期=10月7日(土)~10月22日(日) ◎後期=10月24日(火)~11月12日(日)
休館日=月曜日(ただし10月9日<月・祝>は開館し、翌10日<火>が休館) 開館時間=午前10時~午後5時(入館は午後4時半まで)
共催=毎日新聞社 入館料=一般 950円/高校・大学生 730円/小学・中学生 無料
※20名以上の団体は相当料金の2割引で引率者1名無料 ※「障がい者手帳」をお持ちの方とご同伴者1名2割引

East Asian Paintings of Dogs and Cats

の
犬
と
猫
の
絵
画

彩 彩



大和文華館

— 奈良・学園前 —

〒631-0034 奈良市学園南1-11-6

電話 0742-45-0544 アクセス:近鉄・奈良線(学園前駅)下車 徒歩約7分

[左上] 驚鹿園(部分) 徐悲鴻筆 中国・民国時代 京都国立博物館蔵 [左下] 老圃秋客園(部分) 沈南畝筆 中国・清時代 静嘉堂文庫美術館蔵(画像提供:[公財]静嘉堂/DNPParcom)
[右上] 花下遊狗園(部分) 李巖筆 朝鮮・朝鮮王朝時代 日本文藝館蔵 [右下] 時雨獅子園(部分) 円山応挙筆 日本・江戸時代 府中市美術館蔵



重要文化財 蜀葵遊猫図・萱草遊狗図 伝毛益筆 中国・南宋時代 大和文華館蔵



鹿角戲帶図 伊藤若冲筆 日本・江戸時代 鹿苑寺蔵

特別展 いぬねこ彩彩 東アジアの犬と猫の絵画

East Asian Paintings of Dogs and Cats

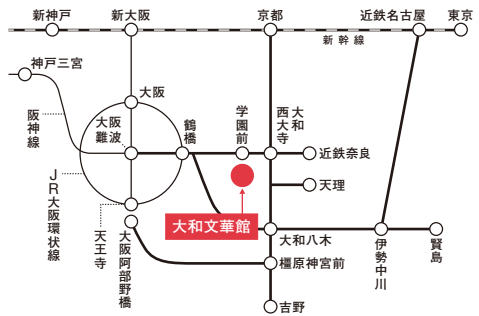
人間の親愛なる友として、今も愛され続ける犬と猫。東アジアでは古くから絵画のモチーフとしても人気を博しました。それらは、必ずしも心を憩わせる愛らしい姿だけを求められて生まれたのではなく、国を超えてモチーフを共有しながら、日々の幸福への祈り、異国への憧れ、権威の象徴、社会風刺などといった、人間の様々な思いを託されることで、しばしば描かれてきたのです。

本展観では、中国、朝鮮半島、日本における、12～20世紀に制作された犬図・猫図、計63件を一堂に展示します。東アジアで花開いた豊かな動物画の世界を、どうぞお楽しみください。

Since ancient history, dogs and cats have been popular painting motifs in East Asia. This exhibition introduces the paintings of dogs and cats created from the 12th to 20th centuries in China, the Korean Peninsula, and Japan.



[左]猫図 朝鮮・朝鮮王朝時代 高麗美術館蔵 [右上]倣李迪狗子図(「和漢流書手鑑」より) 狩野常信筆 日本・江戸時代 個人蔵 [右下]重要文化財 猫児図(「安晩帖」第9図) 八大山人筆 中国・清時代 泉屋博古館蔵



近鉄・奈良線(学園前駅)下車、南出口より徒歩約7分、無料駐車場あり

講演会 11月5日(日)午後2時・講堂
 「かわいいだけじゃない—いぬねこの本流 日本の犬猫表現の展開における狩野派の役割」
 神戸大学大学院 人文学研究科 専任講師 野田麻美氏 [定員]当日先着100名(予約不要)

日曜美術講座 10月15日(日)午後2時・講堂
 「中国と朝鮮半島の犬図・猫図について」
 当館学芸員 都甲さやか [定員]当日先着100名(予約不要)

列品解説 毎週土曜日 午後2時
 当館学芸部による

無料招待デー10月31日(火) 大和文華館開館記念日

大和文華館

奈良・学園前

〒631-0034 奈良市学園南1-11-6
 TEL (0742) 45-0544 FAX (0742) 49-2929
 近鉄・奈良線(学園前駅)下車 徒歩約7分

大和文華館ホームページ
<https://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/yamato/>
 @yamatobunkakan

